

メロディ・インターナショナル株式会社

令和6年3月1日 AMED成果報告会

開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業

周産期死亡低減を目指した モバイル型SNS連動胎児モニターの開発

研究期間：令和4年度～令和6年度

メロディ・インターナショナル株式会社
代表取締役 尾形 優子

周産期死亡低減を目指したモバイル型SNS連動胎児モニターの開発（タンザニア）

メロディ・インターナショナル株式会社 代表取締役 尾形 優子

（研究期間： 令和4年度～令和6年度）

研究目標

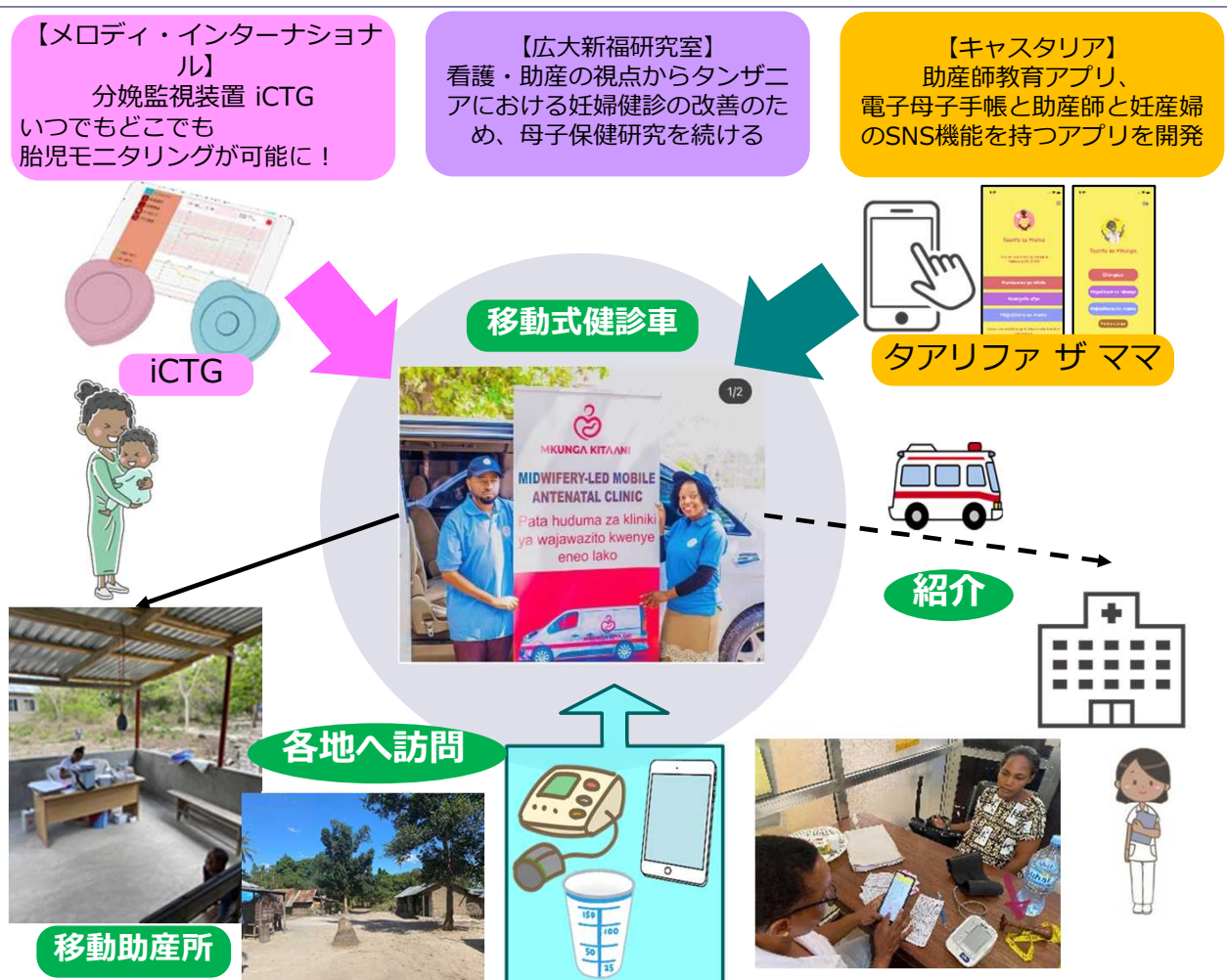
- タンザニアの周産期死亡率が高いのはなぜか？日本の周産期医療の技術（胎児モニターを含む）でそれが解決するのか？タンザニアの医療従事者へのインタビューや医療現場の観察、妊産婦等へのインタビューを通して、真のニーズを発掘し、そのニーズを定性的、定量的に把握し、周産期死亡低減の解決策を探る。

研究成果

- タンザニアでは、妊婦健診に携わる医療従事者のほとんどが分娩監視装置を認知しておらず、胎児モニタリングの必要性を感じている医師等は限られている。
- プロトタイプでの実証を行うために事前に現地の医療従事者へ研修を実施した。それによって、妊婦検診での運用が可能となった。
- また、MCでの妊婦検診に妊婦が来るためにアプリの新機能を追加した。

今後の展望

- 引き続き、移動式健診車での妊婦検診で妊娠・出産がハイリスクとなる妊婦の抽出と教育の提供を行う。
- 胎児の死亡率を下げるために今後は、分娩時にも胎児モニタリングを行う。
- 令和6年度に医療機器承認を取得 ⇒周産期死亡の低減を目指す



1. プロジェクトの進捗（今期の振り返り、今後の予定）

① クリニカルイマージョン

- ・タンザニアの周産期死亡低減に関連したアンメットニーズの発見
- ・県立病院の産科医や小児科医、ヘルスセンターの医師や助産師等にインタビュー実施、さらに現場観察
- ・妊産婦およびその家族にインタビューを実施
- ・ニーズステートメントを作成する



② ニーズスクリーニング

- ・ニーズステートメントのスコアリングを行い、ニーズのランク付け
- ・追加の市場調査等のリサーチを実施
- ・既存技術とニーズとのギャップを分析
- ・本事業で取り組むニーズを決定



③ コンセプトデザイン

- ・ニーズクライテリアの作成
- ・必須要求事項（Must Have）とあった方が良い要求事項（Nice to Have）に分ける
- ・ニーズクライテリアを満たす製品コンセプトの作成

④ プロトタイピング

- ・プロトタイプ（その場でアイデアを体験できるような簡単な模型等）を作製
- ・ユーザビリティ評価で用いる試作品を作成
- ・医療機器の使用方法等体験可能な試作品を作成

試作品の完成



⑤ ユーザビリティ評価

- ・コンセプトのバリデーションを行う
- ・必要に応じて、コンセプト修正
- ・潜在的ユーザーや有識者に対してユーザビリティ評価のインタビューを実施

⑥ 計画策定

- ・事業化へ向けて課題を特定
- ・現地の規制、制度上の要求を把握
- ・上市に至るまでの事業化戦略および研究開発項目、達成目標を立案

⑦ 計画実施


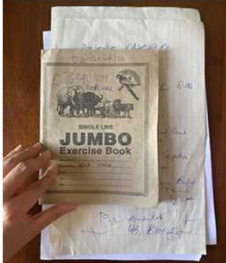

- ・計画に基づき研究開発を実施
- ・承認申請（政府機関への対応含）

⑧ 臨床的意義の明確化

- ・タンザニアにおける周産期死亡低減に対応する機器の臨床効果について検証

2. 本AMED事業で取り組むニーズ

ニーズクライテリアを実施し、本AMED事業で取り組むニーズを決定

No.	写真（イメージ）	ニーズステートメント
1		<p>ハイリスク（合併症等）分娩中の妊婦にとって、胎児の死亡率（低酸素状態で亡くなる胎児の死亡率）を下げるために、分娩中の胎児心拍数を持続的にモニタリングする方法</p> <p>A way to monitor fetal heart rate during labor continuously for high-risk pregnant women in labor in order to reduce fetal mortality.</p>
2		<p>初めて健診に来た妊婦にとって、妊娠時の合併症を早期発見するために、妊婦健診の継続率を上げる方法</p> <p>A way to raise the continuation rate of prenatal checkups for pregnant woman who came to the first prenatal checkup in order to detect pregnancy complications early</p>
3		<p>4週間以上健診受診に来ない妊婦にとって、妊娠時の合併症を早期発見するために、定期的な健診受診を促す方法</p> <p>A way to encourage regular prenatal checkups for pregnant women who have not had prenatal checkups for 4 weeks or more in order to detect pregnancy complications early</p>

3. ユーザビリティ評価概要

目的 : iCTGの計測データを計測タブレットから閲覧できるか。また、iCTGの付属品が現状に適しており、未経験の医療従事者がマニュアルを用いて使用できるかを評価する。

施設名	選定理由
MUHAS	iCTGの有効性や特性を理解いただくことを目的に、実際に機器に触れていただくため。
Kisarawe District Hospital	現時点でフル活用できる環境(ネットワーク環境、スタッフ)であり、今後の展開で導入可能性が高いため。
Bagamoyo District Hospital	現時点でフル活用できる環境(ネットワーク環境、スタッフ)であり、今後の展開で導入可能性が高いため。
Homboza Health Center (Kisarawe)	今回、iCTG設置予定のHCであり、ネットワーク環境のチェックやスタッフから実証のために必要な評価をしてもらうため。
Kerege Health center (Bagamoyo)	今回、iCTG設置予定のHCであり、ネットワーク環境のチェックやスタッフから実証のために必要な評価をもらうため。

4. ユーザビリティ評価の結果

《方針のアップデート》

最低限の機能に絞りこみ導入を行い、
教育、運用、普及の3ステップを通してタンザニアの妊婦健診 及び診察への活用を目指していく

教育

運用

普及

ユーザビリティ評価時点での医療者の状況

CTGの概念がない
(胎児心拍と陣痛を測るという概念、計測したデータを見るという概念がない)

教育のファーストステップ

ターゲット：何も知識を持たない初めて分娩監視装置を使う医療者

ゴール：助産師がデータ判読を行い、リアクティブかアクティブかを判断できるようになり、医師に相談できるようになる

5. MC巡回概要

搭載物：通常妊婦健診物品、iCTG、アプリ

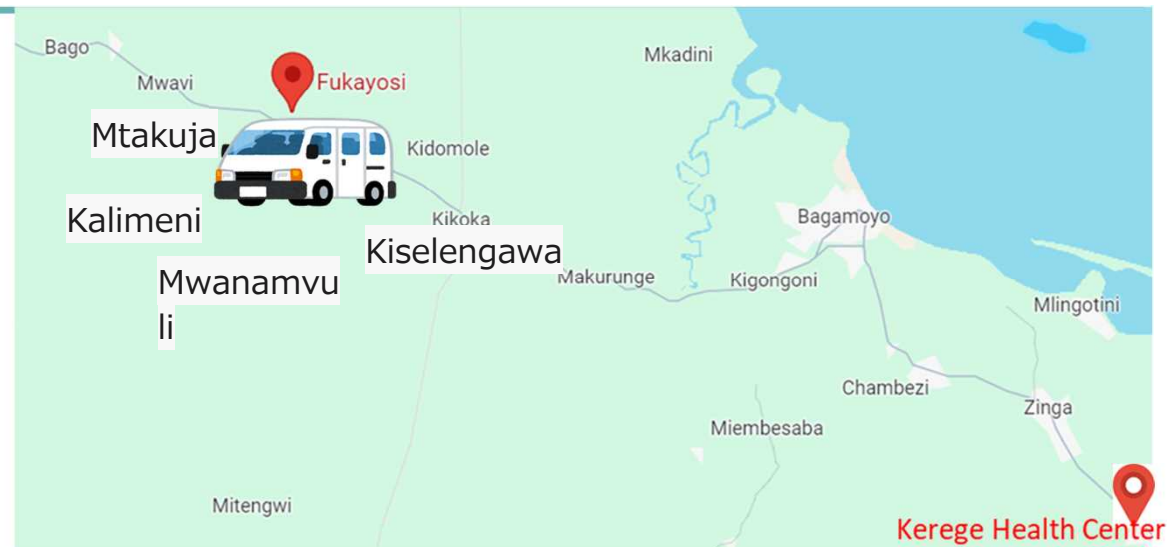
巡回時期：2023年9月～2024年5月（進行中）

巡回地域：バガモヨ、キサラウエの僻地


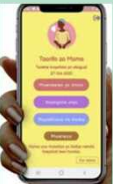



計測人数（2023年12月現在）

モバイルクリニック	Health center
78	189



6. 全体スケジュール(R6年度)

	1Q			2Q			3Q			4Q		
	2024年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年1月	2月	3月
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・iCTGとMCの稼働/活用状況の確認と課題点の把握 			<ul style="list-style-type: none"> ・iCTG受診結果のアプリ上での確認、MC巡回日程告知機能の運用開始 			<ul style="list-style-type: none"> ・MEDEXPへの出展 ・MC搭載のiCTG運用状況の現地調査 			<ul style="list-style-type: none"> ・現地でレクチャー ・システムへのメールアドレスの登録 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・現地ディストリビューターと販売価格についての検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・現地ディストリビューターとの協業方法について決定 			<ul style="list-style-type: none"> ・薬事承認完了 ・結果の閲覧方法について現地にレクチャー 			<ul style="list-style-type: none"> ・現地でレクチャー ・システムへのメールアドレスの登録 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・連携手段の必要情報をキャストリアに共有 			<ul style="list-style-type: none"> ・左記開発実装機能の実運用開始 ・不具合の洗い出しと修正 ・利用状況の確認把握と、課題点改善点の把握 			<ul style="list-style-type: none"> ・MEDEXPへの出展 ・MC搭載のiCTG運用状況の現地調査 			<ul style="list-style-type: none"> ・アプリの一層の利用拡大を図るための方策を調査検討し、可能なものについて実施。 ・課題点・改善点の改良・修正は継続的に 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・MC実装研究の継続 ・搬送状況の確認 ・困難事例へのムヒンビリ大学と連携した助言 			<ul style="list-style-type: none"> ・データ整理、分析 			<ul style="list-style-type: none"> ・普及に向けたデータの整理と提供 			<ul style="list-style-type: none"> ・データ収集 ・分娩室における実証開始 		

エルピクセル株式会社

開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業

肺感染症の検出・重症度判定に向けたX線画像診断AIの開発

(研究期間： 令和3年度～令和5年度)

エルピクセル株式会社

CPE(チーフプリンシパルエンジニア)

シヨパン アントワン

2024/3/1



EIRL

PRODUCED BY LPIXEL

肺感染症の検出・重症度判定に向けたX線画像診断AIの開発

エルピクセル株式会社 代表取締役 鎌田 富久

(研究期間： 令和3年度～令和5年度)

研究目標

AIを活用した肺感染症対策

研究成果

本研究は、結核の検出判定に向けたX線画像診断AIとフォローアップツールの開発を目的とする。単一の感染症としては世界最大の死因である結核は、特に東南アジア諸国では慢性的な問題となっており、AIを活用することで熟練医レベルの診断が実現し、適切なフォローアップを実現することで蔓延防止に寄与する。

今後の展望

3年以内にAI医療機器プログラム特有の法規制対応をクリアした上で、まずはタイから東南アジア諸国に販売・提供を開始する。

- 結核の候補域を検出するAIを開発し、画像診断医に提供。画像診断医の結核検出率の向上を目指す。
- また、結核患者の経過観察を支援するための機能として過去画像比較機能を開発。過去の画像を比較し、結核の重症度を定量的に解析することで結核の進行具合の確認を支援。



※あくまでイメージ図です。検出結果／患者データは仮のものとなっています。

3年間の主な活動内容

現地のニーズに寄り添った製品コンセプトを立案し、製品開発を終盤まで推進した。

1年目

基礎調査の実施

- 現地医師等へのヒアリング
- 市場調査
- 製品コンセプト作成に着手

2年目

製品開発フェーズへの移行

- 製品コンセプトの完成
- 製品開発の推進
- 事業化に向けた調査

3年目

製品開発の仕上げ、上市への準備

- 製品開発の仕上げ
- 薬事戦略の立案、遂行
- 事業化に向けた準備

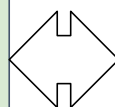
開発体制

マヒドン大学との緊密な連携により、現地に最適化した開発体制を構築した。

エルピクセル
LPIXEL

主な役割

- 研究開発の推進
- AI研究開発に関する知見の共有・助言



マヒドン大学
(公衆衛生学部)
Mahidol University
Faculty of Public Health

主な役割

- 研究開発用データの収集
- 現地フィードバックの収集
- 現地の状況に関する知見の共有・助言

- 開発サポート機関である東京大学の支援の元、マヒドン大学 公衆衛生学部との共同研究契約を締結した。
- マヒドン大学は研究開発に必要な不可欠な現地でのデータ・知見の収集にて大きな役割を担った。
- 本研究開発を含め、様々な交流を通して連携を深めた。



弊社メディカルディレクターのマヒドン大学の客員教授就任



マヒドン大学主催の国際会議への登壇

意図したコンセプトに沿っている事を、医師のプロトタイプの試用を通して確認した。

- 目的：当初意図したコンセプトを達成しているかの確認
- 概要：現地医師にプロトタイプを使ってもらい、使用感の確認や、AIと医師との性能比較を検証を行なった。
- 結果（抜粋）：初診での結核の検出は高感度は評価されたが、さらに他の疾患との鑑別精度の向上が求められたので追加の開発を実施した。（感度約100%を維持しつつ、特異度を50%—70%向上）



プロダクトトライアル風景

Survey for Product Trial 2 for EIRL TB (Comparison, Cavitation Measurement, Final Prototype)

Thank you for participating in the trial! Please take a few minutes to share your feedback with us so we can improve the product.

Name: _____

1. For Comparison function

Please answer the following questions by checking the based on the scale that most accurately reflects your opinion.

Questions	0 N/A N	1 Disagree	2 Somewhat Disagree	3 Somewhat Agree	4 Agree
Do you think the accuracy is sufficient for use in practice?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Do you think the speed is sufficient for use in practice?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Do you think it is easy to use in practice?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Do you think this will contribute to accuracy in reading X-rays? (such as preventing overlook, etc.)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Do you think this will contribute to the reduction in workload/time?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Do you want to have the product for your practice?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
What would be the legit price range of the product?					

※ Can't evaluate with the prototype

2-1. What is your impression of the EIRL AI results? (Was it similar to your readings?)

2-2. Was the categorization legitimate? (Is the name of the category (improved, stable, progress) legit/easy to understand?)

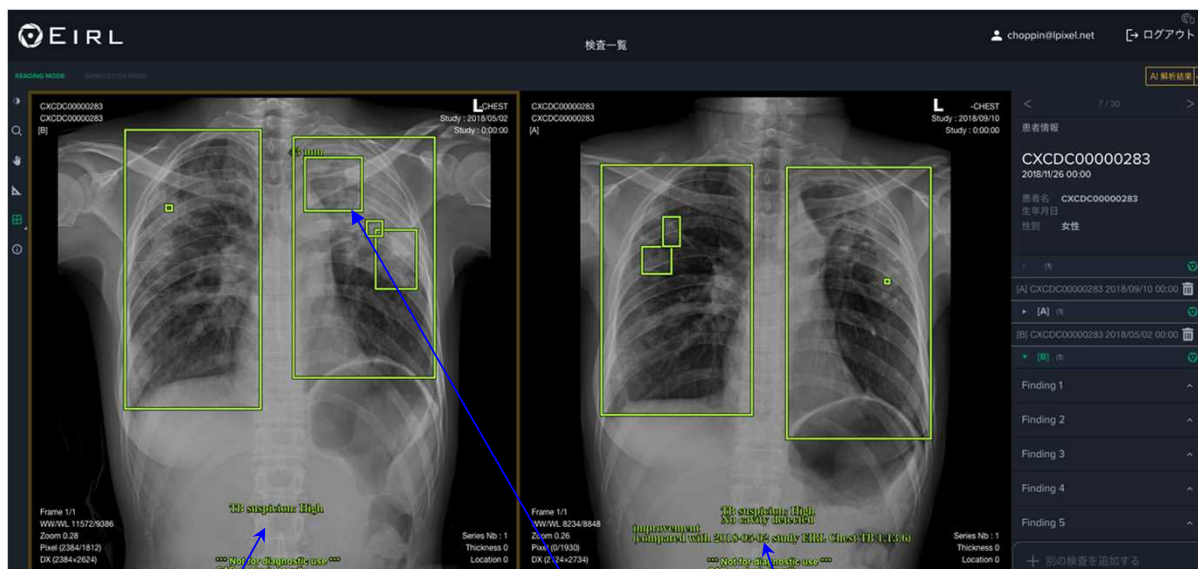
2-3. What were the points you liked/disliked about the prototype?

1/3

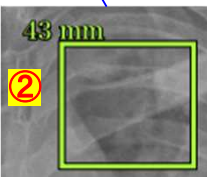
試用後のアンケート

研究開発品の紹介

結核治療の初診から再診までの幅広い範囲をサポートするAI



① TB suspicion: High



③ improvement (compared with 2018-05-02 study EIRL Chest TB 1.13.6)

- 現地でのヒアリングの結果、初診と比較し、再診には多くの工数がかかっており課題感が強い点に着目した。
- 主な特徴は、再診のサポートを意図した「経過観察支援機能」を有している点。
- 主な機能一覧

機能	概要	
①結核検出機能	結核の可能性を三段階で評価	
経過観察支援機能	②定量化	空洞影のサイズを測定
	③比較	2つの画像を比較し、変化を3段階で評価

研究開発期間の終了後

本研究期間終了後、1年後に製品を上市予定である



1. 製品開発の完了
(2024年春)



2. 薬事申請の完了
(2024夏)



3. 認可取得、上市
(2025年)

事業化に向けた取り組みの紹介

認可申請後、事業化に向けた取り組みを加速させる。

タイを念頭に将来的には東南アジア全体への展開を想定。

日ASEANにおけるアジアDX促進事業 JETRO

エルピクセル株式会社

LPIXEL

- 所在地：東京都千代田区
- 従業員：約60名
- 会社設立年：2014年
- 事業内容：ソフトウェアの企画、研究、設計、開発製造及び販売等


<https://lpixel.net/>

プロジェクト名

- タイにおける画像診断AIを活用したモバイル結核検診の実現に関する実証事業

現地企業や政府との協力・連携

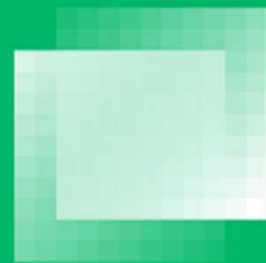
- 現地パートナー：マヒドン大学(公衆衛生学部)、バンコク主都庁(BMA、公衆衛生センター AIDS対策部)
- 協力・連携の内容：モバイルX線(X線撮影装置を搭載したバス)による結核スクリーニングへの画像診断AIの導入、効果検証



※あくまでイメージ図であり、検出結果/患者データは仮のものである。
Copyright (C) 2023 JETRO. All rights reserved.

独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) 「日ASEANにおける アジアDX促進事業」
採択案件の概要

- JETRO「日ASEANアジアDX促進事業」において「タイ結核検診用AI」プロジェクトが採択された。本プロジェクトは、マヒドン大学とのディスカッションから生まれ、本製品の事業化の検証の一環として実施。
- タイでの認可を皮切りに、東南アジア市場への展開を見据え、代理店との話し合いを進めている。地域に合わせた販売網を確立し、本研究開発の成果を効果的にかつ、広範囲に普及させることを目指している。



LPIXEL

BioSeeds株式会社

現場使用可能な新型コロナウイルス変異株RNA検出システム の開発と開発途上国・新興国での性能評価 (研究期間 令和3年度～令和5年度)

Project Researcher(s)



BioSeeds株式会社
ビヤニマニシュ



日本航空電子工業株式会社
須田 篤史



京都大学
保川 清



九州大学
中島 直樹



Budget



Development Support
 • Design approach support
 • Construct local network

U of Tokyo Biodesign

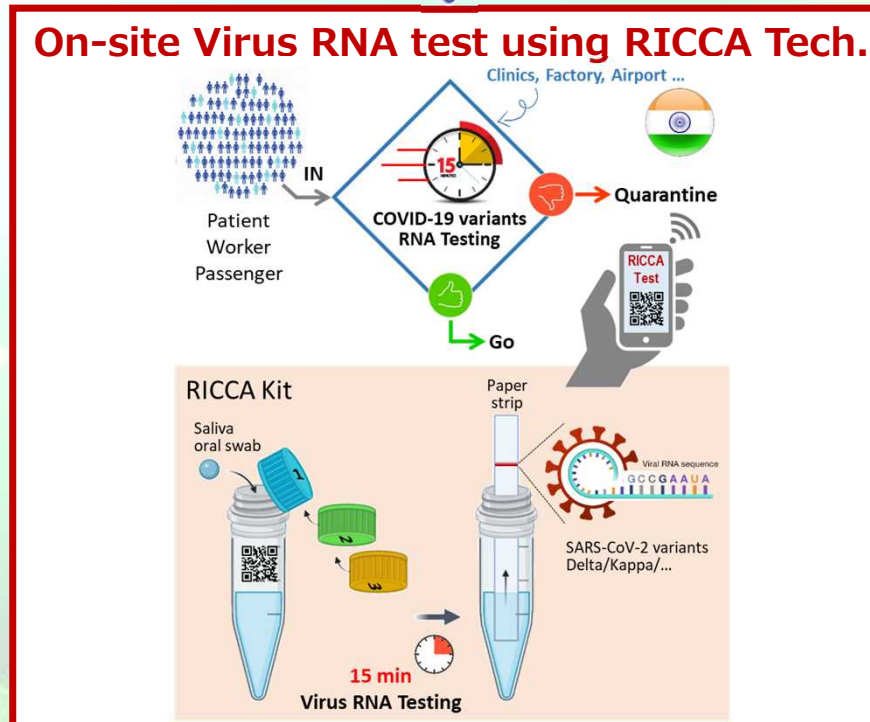


CDI Medical, Inc.

McKinsey & Company



Existing Conventional PCR system
 PCR testing requires expensive testing equipment,
 dedicated laboratories and long analysis times



Local collaborators in India

Research Collaborator & Manufacturing Partner

Biyani BioSolutions Pvt. Ltd.
Kanani Biologicals

Marketing Partner

Systemx India
OPRL Biosciences Pvt. Ltd.

Clinical Consultant

Accredited Consultants Pvt. Ltd.

Reagent supplier collaborators

Molecular Biology Resources, **USA**

empBiotech, **Germany**

BioVisible BV, **The Netherlands**

特定されたニーズ (Unmet Needs in India)

① **on-site**
 1日~1週間;長距離
 Sample collection Center ← → **PCR Center**
 検査センターから遠方に住んでいる患者に対し、
診断結果通知の遅延と、それを背景とした精度の低い簡易
キットへの過度な依存を防ぐため、
30分以内、PCRと同等の精度にて、オンサイトで実施可能な
COVID-19検査方法を提供する

② **Genotyping**
 SARS-CoV-2 variants
Delta/Omicron/JN.1 ...
 様々な変異株を有するSARS-CoV-2、インフルエンザ、
結核等への感染が疑われる患者に対し、
新たに発生した変異株によるクラスター感染を防ぐため、
迅速に変異株の遺伝子型を検査する方法

③ **100 tests**
 大勢が参加するイベントの管理者に対し、
参加者間同士の感染拡大を防ぐため、
大勢のCOVID-19検査を、診察室外にて短時間で実施する方法

アプローチ

PCRの様な信頼性を
有し、かつ抗原検査
キットの様に簡便に
使用可能な、新しい
核酸増幅法

当社独自の
RICCA技術
を応用

数塩基の違いを迅速に
検出可能な、電気泳動
ベースのジェノタイピ
ング法

当社独自の
PalmPAGE
技術を応用

RICCAとPalmPAGE技術
によるハイスループット
検査を実現する、安価か
つコンパクトなロボット
プラットフォーム

市販の卓上型
分注ロボット
(OT-2 /
Opentrons)社
を活用

本事業の開発品 (Solution for India)

RICCA キット

 ✓ Wetware
 ✓ Software

RICCA デバイス

 ✓ Hardware
 ✓ Software
 ✓ Wetware

RICCA ロボ

 ✓ Hardware
 ✓ Software

研究開発項目: 装置・試薬の生産体制構築 (完了)

Easy-to-use 「RICCA sphere」*

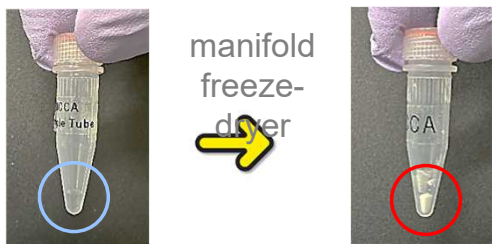
Freeze-drying formulation for 'Cold-storage-free' and 'Cold-chain-free' shipping

Kit challenge

冷凍輸送・冷凍保存
が難しい地域にもキットを届けたい!

フリーズドライ cake-type (@BioSeeds, Japan)

フリーズドライ sphere-type (@empBiotech, Germany)



RICCA液体試薬

RICCA cake

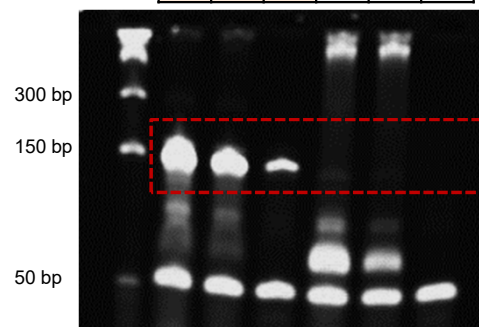


RICCA液体試薬

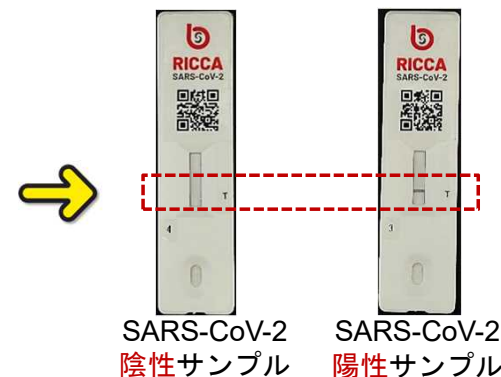
RICCA sphere



DNA Ladder	Pos. (+)			Neg. (-)			SARS-CoV-2 常温での保存期間 (日)
	0	1	7	0	1	7	



← RICCA amplicon (134 nt)



常温での保存期間

従来手法でフリーズドライしたキット (cake-type) : 1週間程度

新規手法でフリーズドライしたキット (sphere-type) : 1年以上*

*見込み値。保存安定性試験実施予定

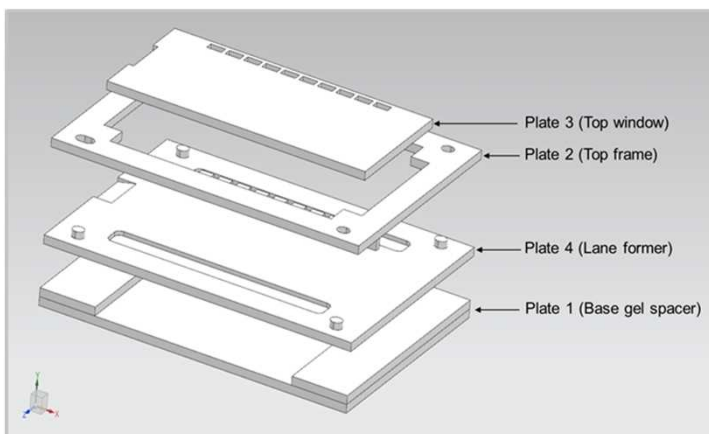
*試薬が、NS1のRICCAキットの一部である。

研究開発項目: 装置・試薬の生産体制構築 (完了)

Mass-scale production of Pre-cast gel cassette* in India for RICCA device

*カセットがNS2のRICCAデバイスの一部である。

Design



Mold making in India



Product



プレキャストゲルカセットの仕様

- ✓ 1インチサイズのすぐに使えるゲルカセット
- ✓ ランニングバッファー不要
- ✓ 電気泳動時間は**5分**
- ✓ ラン後のゲル染色は不要
- ✓ 室温での保存期間は**3ヶ月**以上。
- ✓ コストは従来の**10分の1**

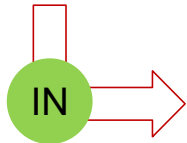


研究開発項目: 多検体迅速測定システム開発、性能評価 (完了*)

Bench-top Robot for automating **multiple** RICCA tests in **parallel** within **30 min**



Patient Saliva samples
08~96 / run

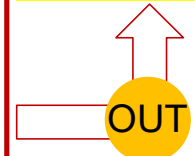


RICCAロボビデオ (30 sec)

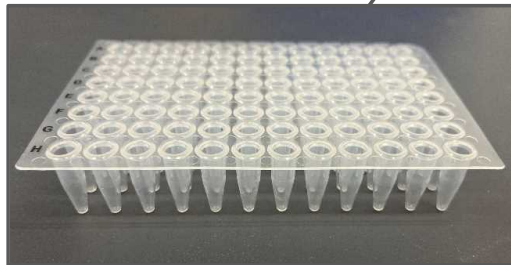
*ラボ内でのダミーサンプルを用いた実験にて、各ユニットが正常に機能することを実証。



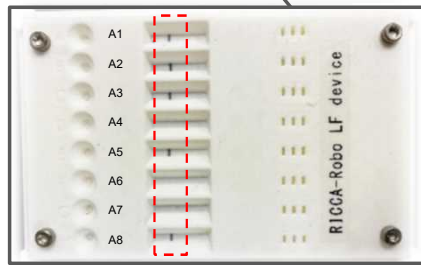
Testing Results in
26 min / run
(理論値)



*12chの連結ピペットで26分
*8chの連結ピペットで38分



Saliva sample IN



Results OUT

A1	Pos
A2	Pos
A3	Pos
A4	Neg
A5	Pos
A6	Neg
A7	Neg
A8	Pos

RICCAロボの仕様

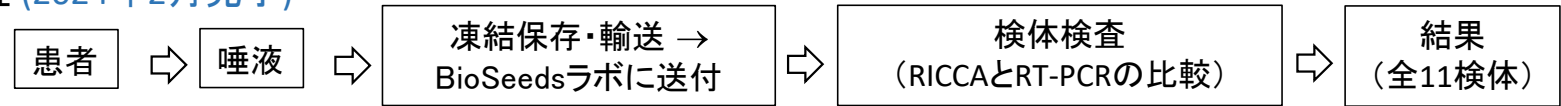
- ✓ Affordable \$5000 ~
- ✓ Bench-top 45 kg ~
- ✓ Compact in size 63×57×66 cm
- ✓ Testing speed (08~96 samples / run)

研究開発項目: 薬事申請データ取得; 薬事申請・承認取得 (進行中)

Clinical trials for regulatory approval in India to import and sell the RICCA kit in India

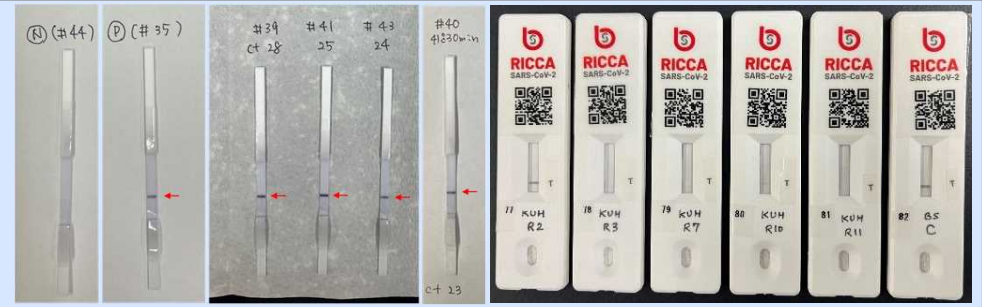
Step-1: Pre-clinical trials in Japan (川崎臨港総合病院・九州大学病院)

1-1. RICCAキットの原理実証 (2024年2月完了)

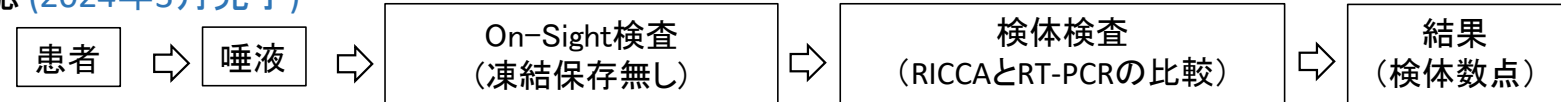


結果: 陽性一致率、陰性一致率ともに100%

		RICCA		
		Pos.	Neg.	Total
RT-PCR	Pos.	7	0	7
	Neg.	0	4	4



1-2. On-Sight検査の効果確認 (2024年3月完了)



Step-2: Clinical trials and regulatory approval in India* (インドの薬事コンサル**がサポート)

*インドCOVID-19陽性患者数減少のため実施時期を変更

**Accredited Consultants Pvt Ltd



CPE(臨床能力評価)の**実施許可**

より大規模な臨床試験にて効果(感度&特異度)を確認
*100検体数

RICCAキットの**輸入許可**

RICCAキットの**販売許可**

@ BioSeeds Corporation (A venture from JAIST, Ishikawa, Japan; Established 2018年4月)

特許実績

1. RICCAキットの国際特許登録 (WO 2022/244104) **USA** 20078.0194USWO; **Europe** EP21940721.0; **India** 202347080931; **Japan** 2020-093786
2. RICCAデバイスカセットの意匠登録 (392015-001, 2023年7月5日)
3. RICCAデバイスの国際特許出願 (PCT/JP2023/040080)

論文実績

1. Molecular Biology Reports 2024: 51, 289. Detection of SARS-CoV-2 spike protein D614G mutation using μ TGGE. Juma et al.
2. Biosensors 2024: 14, 115. Real-Time On-site Monitoring of Viruses in Wastewater using Nanotrap Particles and RICCA Technologies. Sharma et al.
3. 電気設備学会誌 2023: 43, 12. サステナブル社会の実現に向けた新興国向け新型コロナウイルス検査装置の開発. Kunikata et al.

国際会議/学会/展示会

1. Plenary talk in The 8th International Biotechnology Symposium (UMS, Malaysia, 2023年8月29日)
2. Oral 令和5年電気学会 基礎・材料・共通部門大会(愛知工業大学, 2023年9月8日)
3. Poster in 第84回応用物理学会秋季学術講演会(熊本城ホール, 2023年9月19日～23日)
4. Exhibition 第46回日本分子生物学会年会(神戸国際会議場, 2023年12月6日～8日)

シビ・ジョージ新任インド大使が石川県BioSeedsを訪問



第46回日本分子生物学会年会で、国内複数の生化学分野の商社・メーカーが興味を示した。



2023年2月24日

本事業開発品による診断結果データを活用したビジネスの検討 (進行中)



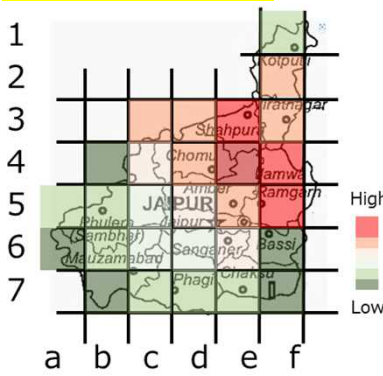
「Aadhaar アドハー」データベース

インドに導入された国民IDシステム

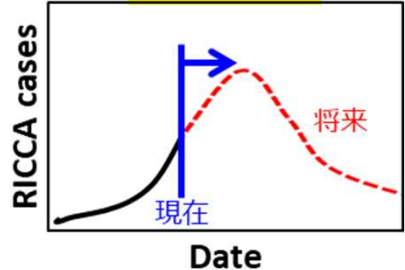
No.	Age.	Gender	Location
1	62	F	Amber
2	14	M	Jaipur
3	33	M	Chaksu
⋮			

→
組み合わせて分析

感染状況把握



感染予測



「SVAS」
(Silent Voice Alert System)
感染予測など、こんな使い方できます…

アプリ説明ビデオ (30 sec)

- ✓ RICCAデバイスとRICCAロボを全国に展開し、大規模な診断結果データベースを構築
- ✓ Aadhaar登録情報と組み合わせて分析することで、より高精度に感染状況を把握し感染予測を提供
- ✓ システム要件や運用コスト等、データ活用ビジネスとしての事業化可能性を検討中

